

令和2年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		社会基盤維持管理事業		課名	土木課	事業No.	235
				会計	一般会計		
主要区分		主	記号	事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	戦略計画						
	分野別計画			飯田市舗装長寿命化修繕計画			
				橋梁長寿命化修繕計画			
	法令・例規等			建設リサイクル法			
事業目的		対象	飯田市が管理する道路、河川、水路				
		意図	道路、河川、水路の維持管理				

2 事業内容

2年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	老朽化などにより傷んだ道路・橋梁・河川・排水路を早期に発見・補修すると共に、付属施設の維持管理を計画的に行っていくことで、効率的、経済的に社会基盤の強化を図りました。河川災害防止のため緊急浚渫事業に取り組みました。また、沿道の支障木や街路樹の管理、冬期の除融雪などを適期に行うことで、安全な交通の確保を図りました。	道路補修事業						211,666			
道路舗装補修事業						224,516					
道路維持管理事業						31,616					
除雪費						79,072					
橋りょう補修事業						7,100					
河川維持補修事業						21,374					
りんご並木管理費						3,399					
街路管理費						23,614					
その他の経費						0					
活動指標		指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	社会基盤維持補修工事	箇所	350	298	350	413	350	358	350	357	
	施設補修用資材支給箇所	箇所	150	140	150	108	150	150	150	132	
	舗装補修工事	箇所	200	248	200	212	200	198	200	165	
	社会基盤維持管理業務委託	箇所	70	43	70	76	65	72	70	56	
2年度決算(千円)	予算額	636,921	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	602,357	(国) 社会資本整備総合交付金(除雪)(2/3)								
	財源の状況	国庫支出金	11,354	(地) 公共施設等適正管理推進(充当率90%) 20,200千円							
		県支出金	0	(地) 緊急浚渫推進(充当率100%) 9,700千円							
		地方債	29,900	(そ) 繰越金							
		その他	9,087	1→2 繰越明許費 9,087千円							
一般財源	552,016										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	8	2	2	1	3	7,825	7,322	会計年度任用職員人件費
2	1	8	2	2	10	1	217,225	207,888	道路補修事業費
3	1	8	2	2	11	1	232,940	222,872	道路舗装補修事業費
4	1	8	2	2	12	1	120,533	108,788	道路維持管理事業費(除雪費含む)
5	1	8	2	4	10	1	7,684	7,100	橋りょう補修事業費
6	1	8	3	2	10	1	22,088	21,374	河川維持補修事業費
7	1	8	4	3	10	3	28,626	27,013	街路管理費(りんご並木管理費含む)
振り返り課題認識	多くの水路、道路施設等の経年劣化・老朽化による損傷個所が増加する中、迅速に対応する必要があります。特に舗装補修工事を依頼しても、施工業者の手が回らず工事の見送りや繰越が発生しています。災害を未然に防ぐために緊急性の高い個所から修繕、補修を行っていますが、すべての個所の対応ができない状況です。委託業者社員の高齢化・人不足のため、維持工事及び除雪対応が難しくなる地域が今後出る事が予想されます。								
上記の課題解決のための有効策	市道の管理方針による点検を行い、市道の重要度を勘案した修繕・補修を進めます。早期発注による維持補修工事の推進を進めます。維持補修体制及び除雪体制の見直しの検証を進めます。								
次年度に向けての取り組み	橋梁長寿命化修繕計画にもとづいた維持補修を実施します。維持補修、除雪体制に係わる業者との懇談会を行います。地区要望で提出された維持補修依頼の早期実施に取り組みます。								